

滋賀県立大学C A I システム借入に係る落札者決定基準

1 評価実施機関

- (1) 評価は「公立大学法人滋賀県立大学C A I システム提案評価委員会」（以下「評価委員会」という。）が実施する。
- (2) 評価委員会は、入札参加者から提出された入札書および提案書について、本「落札者決定基準」に基づき、付与する点数の判断を行う。

2 総合評価に関する事項

- (1) 評価項目
総合評価落札方式の適用において評価対象とする項目は、入札価格ならびに次頁の提案要求事項一覧表の「評価項目」とする。
- (2) 評価配点
評価にあたっては100点（総合評価点）の範囲内で配点を行い、入札価格による評価点（価格点）と提案書の内容等による評価点（技術点）に区分し、配点をそれぞれ価格点40点、技術点60点とする。
- (3) 評価方法
 - ア 入札価格による評価
入札価格による評価点（価格点）については以下の評価方式により算出する。
入札価格による価格点＝価格点の配布（40点）×（1-入札価格/予定価格）
 - イ 技術評価
 - ① 仕様書の内容については、要件確認審査において1つでも仕様書の基準を満たしていない項目がある場合は失格とする。
 - ② 提案書の内容等による評価点については、各項目に記載された評価内容についてそれぞれ採点を行う。提案書の内容等による評価点（技術点）の合計は60点となる。
 - ③ 技術点は評価基準に基づき、評価委員会が採点を行う。

3 落札者の決定方法

- (1) 下記の要件を全て満たした者で、価格点と技術点の総合評価点が最も高いものを落札者とする。
 - ア 入札説明書（要求仕様書）において明らかにした性能等の要求要件のうち、要件確認審査および提案評価委員会において、すべての項目について仕様書の基準を満たしたと判断された者（2（3）イ①のとおり）
 - イ 入札価格が、予定価格以下であるもの
- (2) 総合評価点が同点となる入札者が二人以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。くじ引きの実施日時、場所等については別に連絡を行う。

なお、くじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員にくじを引かせるものとする。

4 評価の対象外となる場合

評価委員会事務局の事前の審査の結果、次に該当する場合は、評価委員会による評価の対象外となるとともに落札者決定の対象から除外される。

- (1) 仕様書の要求項目のうち実施しないあるいはできないとする項目がある場合
- (2) 仕様書で要求水準を定めたものについて、その水準を満たさない場合
- (3) 提案を求めた項目に対して、提案内容が示されていない場合
- (4) 入札価格が、予定価格を上回る場合

滋賀県立大学CAIシステム借入に係る評価基準

No.	評価項目	評価細目	評価内容	評価 ランク	評価指標
1	全般	構築実績	本システムと類似および同等以上規模の構築実績があるか。	A	優れた実績がある。
				B	実績がある。
				C	実績がない。
		端末システム導入実績	端末管理機能で指定されたソフトウェアの導入実績があるか。	A	優れた実績がある。
				B	実績がある。
				C	実績がない。
		資格・認証	個人情報を取り扱うための最低限の認証・資格を有しているか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の資格・認証である。
2	CAI教室内環境	端末に関連する機能	端末の性能は十分であると認められるか。	A	十分に満たしている
				B	満たしている
				C	最低限満たしている
		端末に関連する機能	学生用端末と教員用端末は同一の構成で、故障時の交換作業に不便さが生じないか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		端末管理機能	平成27年度に導入されたシステムとの統合について十分に考慮されているか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		AVシステム	現行システムと同等以上の機能を有していると認められるか。	A	現行を上回る機能を有している。
				B	同等だが機器交換が多い。
				C	現行と同等の機能を有している。
3	サーバ機能	バックアップ	バックアップの対象、頻度、保存時間等は十分に設計されているか。また5年間の運用を前提に提案されているか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		障害時の自動復旧	サーバ・ネットワーク機器の障害発生時の対策は適切であると認められるか。	A	すぐれた能力を有する。
				B	標準的な能力を有する。
				C	最低限の能力を有する。
		学生用メールシステム (在学生)	メールデータの移行は可能か。	A	移行は可能である。
				B	移行サポートを行う。
		学生用メールシステム (在学生)	ID登録、削除の際に必要なツールは使いやすいと認められるか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の機能である。
		学生用メールシステム (在学生)	メールログの検索方法、ダウンロード方法が考慮され、ダウンロードするサーバ構成が提案されているか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		生涯メールシステム (卒業生)	卒業時の生涯メールへの切替は容易に行えるか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		教職員用メール・スパムメール・ウイルスチェックおよび標的型攻撃チェック機能	未知のウイルス・マルウェア等の検査によるメール配送遅延時間は適切であると認められるか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の構成である。
		教職員用メール・スパムメール・ウイルスチェックおよび標的型攻撃チェック機能	ポリシー設定やレポート管理は行いやすいか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の機能である。
		教職員用メール・スパムメール・ウイルスチェックおよび標的型攻撃チェック機能	メール送受信時のメール配送経路およびこれに伴う設定変更箇所が考慮されているか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		学生用メール・スパムチェック・ウイルスチェック機能	ポリシー設定やレポート管理は行いやすいか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の機能である。
		学生用メール・スパムチェック・ウイルスチェック機能	メール送受信時のメール配送経路およびこれに伴う設定変更箇所が考慮されているか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。
		ウェブサーバ	Webサーバの障害に対する対策は適切であると認められるか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の構成である。
		DNSサーバ	DNSサーバの障害に対する対策は適切であると認められるか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の構成である。
		その他セキュリティ対策	ウイルス・マルウェア等の脅威に感染した学内の端末から、外部に情報を漏洩させようとする通信を制御可能と認められるか。	A	よく考慮されている。
				B	標準的な考慮である。
				C	あまり考慮していない。

		その他セキュリティ対策	提案機器故障時の保守体制は適切であると認められるか。	A	優れている。
				B	標準的である。
		その他セキュリティ対策	提案機器の冗長構成は適切であると認められるか。	A	優れている。
				B	標準的である。
				C	最低限の構成である。

滋賀県立大学情報処理教育システム・CALLシステムおよび情報基盤システム借入に係る評価基準(採点表)

No.	評価項目	評価細目	評価内容	評価 ランク	評価指標
4	機能以外に関する要件	電源環境	設置環境と電源環境は十分に調査され、適切に提案されているか。	A	詳細に検討されている。
				B	一定の検討がされている。
				C	最低限検討されている。
		設置条件等	データの移行作業は妥当であり実現可能であるか。	A	詳細に検討されている。
				B	一定の検討がされている。
				C	最低限検討されている。
		設置条件等	既存システムに影響を与えないよう事前調査・計画等がされているか。	A	詳細に検討されている。
				B	一定の検討がされている。
				C	最低限検討されている。
		保守サポート	システムに障害が発生した場合の対応は適切であると認められるか。	A	優れた計画である。
				B	標準的な計画である。
				C	最低限の計画である。
	全体	要件を満たさない項目があった		要	
				否	